

<https://fukuokae.hosp.go.jp/>

福岡東医療センター地域連携 広報誌

ちどり

Vol. **60**  
OCTOBER  
2025



## Contents

特集：当院の血管外科治療に関して

特集：腎臓内科紹介

特集：放射線リニアックについて

- チーム医療(看護部 RST チーム)
- 院内おすすめスポット
- 宿泊研修
- 地域連携室だより
- 消防訓練
- うえやま先生(クッキングパパ)の紹介



病院の基本理念

「患者よし、職員よし、病院よし」

### 病院の運営方針

- 病む人の人権を尊重し良心的な質の高い医療を提供します
- 安全で心温まる医療を提供します
- 臨床研究を推進し医学・医療の進歩に貢献します
- 教育研修を通して人材育成に努めます
- 新しい医療情報を発信し地域医療の発展に貢献します
- 職員が一体となり健全な病院経営に努めます

# Activities Introduction: 1 当院の血管外科治療に関して

血管外科部長 まつもと たくや  
松本 拓也

## 新時代を迎えた血管外科治療

血管外科の疾患は、大きく分けて動脈瘤、末梢動脈疾患、下肢静脈瘤があります。

### ① 腹部大動脈瘤の治療

#### ● 開腹人工血管による動脈瘤切除・再建

上下腹部正中切開で開腹し、侵襲を伴うが、人工血管と宿主動脈を直接縫合し長期成績が期待できます。75歳以下の全身状態良好な患者さん向けの治療です。

#### ● 経皮ステントグラフト治療

皮膚からエコーガイド下に動脈を穿刺しステントグラフト(図1)を挿入。数ミリの皮切で高齢の患者さん向けの治療です。動脈瘤が5cm以上あれば破裂の危険性がありますので紹介下さい。

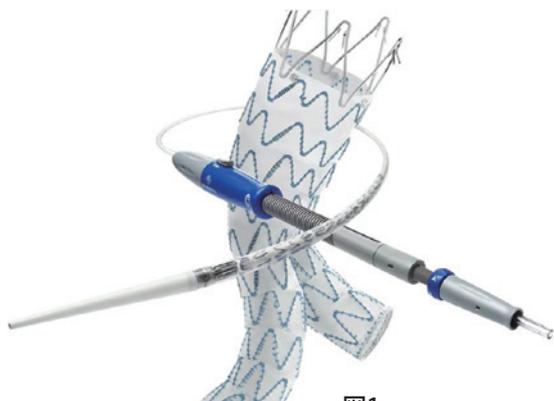


図1

### ② 末梢動脈疾患の治療

間欠性跛行、安静時痛、潰瘍・壊疽があれば閉塞部位の血行を下記の方法で再建します。

#### ● 自家静脈、人工血管を用いたバイパス

鼠径靭帯以下の病変に対し、長期開存を期待したい場合閉塞部位が膝上の場合は主に人工血管で、膝下の場合は自家静脈でバイパスします。

#### ● バルーン、ステントを用いた血管内治療

1mm程度の傷でワイヤーさえ病変を貫通すれば短期間であれば血流を増やすことができ難治性潰瘍や安静時疼痛の治療が可能です。バルーン表面に再狭窄を予防する効果のある薬剤(パクリタキセル)でコーティングされたバルーンカテーテル(図2)が有効です。バルーンを病変部で拡張することで、その薬が病変部に移行し、再狭窄を予防し開存期間の延長に寄与します。

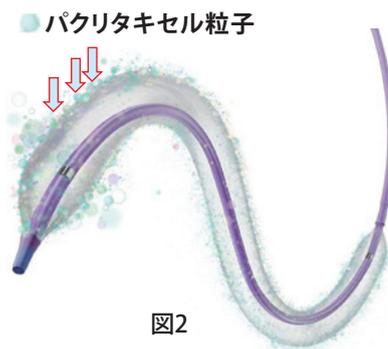


図2

### ③ 下肢静脈瘤の治療

#### ● ストリッピング手術

径12mm以上の伏在静脈を抜去します。

#### ● グルー治療

接着剤(シアノアクリレート)を注入することで弁の逆流を防ぎます(図3)。レーザー治療とは異なり神経損傷が全くと言っていいほどなくうつ滞性皮膚炎の原因となっている不全穿通枝に

も充填できるという大きな利点があり、現在ではほとんどの症例をグルー治療で施行しています。

近年血管外科治療は、いずれの疾患に関しても低侵襲治療である血管内治療を第1選択とする新時代を迎え、超高齢化社会に適応すべくデバイスの進化とともにより低侵襲治療へとパラダイムシフトが起っています。

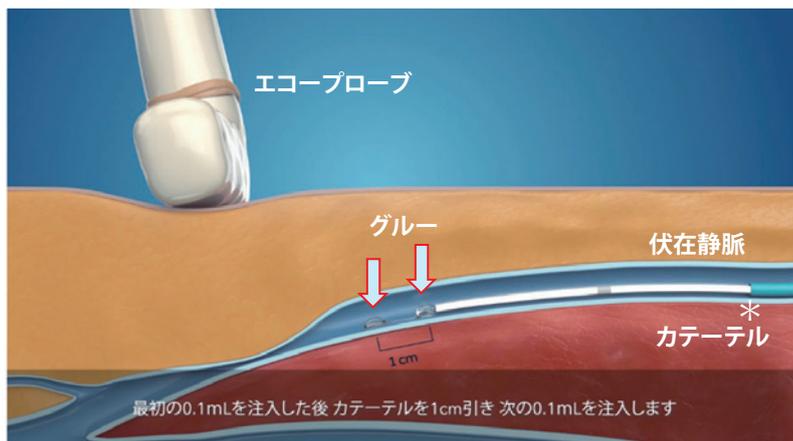


図3

グルー

# Activities Introduction: 2

## 腎臓内科紹介

腎臓内科部長 黒木 裕介  
くろき ゆうすけ

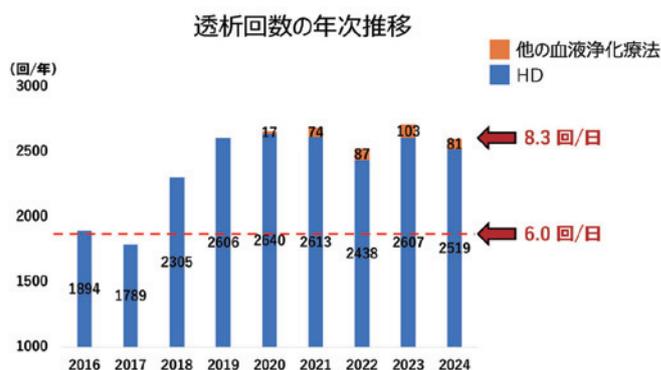
### 透析室増床のお知らせ



2024年12月に当院の透析室は6床から12床へ増床いたしました(写真)。当院透析室は外来での血液透析は行わず、治療・手術・検査などで入院された血液透析患者の透析療法、新規に透析を始める透析導入、シャント治療のため入院された透析患者さんの入院透析を行っております。多くの透析患者さんに当院へ入院して頂いていますが、これまではひとつのベッドで午前・午後と2名の方に透析治療を行う状態が常態化していました。血漿交換などの特殊な血液浄化療法も合わせると一日平均透析回数は8回を超え、6回である当院の上限を常に超える状況でした(図)。とくに午後から透析を行う患者さんは終了時刻が19時から20時になることも稀ではありませんでした。また入院予定の患者さんが希望通りに入院できない、急患での入院対応も難しいといった不都合も生じておりました。このようなご迷惑をお掛けしている状況を解消するために、この度透析室を拡張し12床へ増床することで入院中の透析治療をスムーズに行い、夕方までに終わることが出来るようになりました。透析

患者さんの緊急入院にも常時対応することで、腎・透析領域でも地域の皆様に貢献したいと考えております。

腎臓内科は、慢性腎臓病、透析療法を中心に地域の先生方と緊密に連携を取りながら診療を行ってまいります。安定している患者さんについては、日常診療を地域の先生方へお願いするかと思います。軽症・重症を問わず対応致しますのでお気軽にご相談ください。



# Activities Introduction:3 放射線リニアックについて

放射線科部長 渡辺 哲雄  
わたなべ てつお

## 放射線治療機器の更新について

2025年11月末より、  
当院の放射線治療機器が新しくなります。  
新機種導入の主なポイントは以下の3点です。

### 1 寝台の角度調整が可能に

新機種では、患者さんに寝台に横になっていただいた状態で簡易CT撮影を行い、その画像に基づいて正確に照準を合わせた照射が可能となります。特に寝台の角度調整ができるようになることで、腫瘍へのピンポイントな照射が実現し、脳転移に対する定位照射が可能になります。



### 2 呼吸同期照射の対応

新機種では呼吸に合わせたタイミングでの照射（呼吸同期照射）が可能となり、肺の移動に合わせた照射ができるようになります。これにより、従来必要だった広範囲照射を回避でき、放射線肺炎のリスクを低減できます。治療計画の為にCT更新後には、呼吸同期が可能になる見込みです。



### 3 前立腺がんに対する標準的照射への対応

前立腺の背側に接している直腸への影響を最小限に抑えるため、コンピューターによる高精度な照射計画を立てる必要があります。新機種ではこの複雑な照射が可能となり、前立腺がんに対する標準治療に対応できるほか、同様の技術は脳腫瘍術後の照射にも応用可能です。

新機種の稼働後にはコンピューター調整及び安全性の確認に時間を要すことから、前立腺の標準的照射は年明けの開始となる見込みです。

今回の更新により、当院で実施可能な放射線治療の範囲が大きく広がります。放射線治療の適応が考えられる患者さんがいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。

# 呼吸ケアサポートチーム (RST) のご紹介

呼吸器内科部長 やました たかふみ **山下 崇史** 4東病棟看護師長 すずき たかし **鈴木 崇史** ICU看護師長 おおつ みさ **大津 美砂**

当院では、呼吸不全の患者さんにより良い医療と看護を提供することを目的に、平成30年4月、呼吸器内科部長をリーダーとして、看護師・リハビリ・臨床工学技士・薬剤師からなる呼吸ケアサポートチーム(RST)を立ち上げました。RSTは、それぞれが協力しながら、人工呼吸器や酸素療法を適切に活用し、患者さんの生活の質や予後の改善につなげることを目指しています。

現在の主な活動として、週に一回病棟ラウンドをしています。ラウンド内容は、呼吸管理、鎮静・栄養、感染予防、リハビリ、看護ケアなど多角的な視点で患者さんを支援しています。その他には、呼吸療法マニュアルの整備、職員向けの研修会、呼吸ケアに関する物品の見直しなどを行っています。研修会は全職員を対象に年4回開催して、解剖生理から治療・検査などについて学びを深めています。年2回のワークショップは一日をかけて、医師・看護師・臨床工学技士・リハビリスタッフなどが人工呼吸器管理について共に学び、臨床実践に活かせるような内容を大切にしています。参加者からは、「明日から実践で活かせる内容で良かった」「基礎的なことから看護ケア・多職種での関わりまで学べた」などの意見が聞かれており学びを深めています。本年度7月に開催した



第7回ワークショップは、他病院からの見学があり他施設からも注目される研修となってきています。

福岡東医療センターでは、一般の重症呼吸器ケアから感染症呼吸器ケアや重症心身障害者の呼吸器ケアなどさまざまな患者さんがいます。地域の中でも呼吸器ケアにおいて中心的な役割を果たしていると認識しています。現在RSTの活動は病院内を中心に行っていますが、研修など地域の方々にも参加できる機会を設けられるように活動を広げていきたいとも考えています。今後とも、地域の皆さんと連携しながら、質の高い医療を提供していきます。



当院の

## おすすめスポット



## 当院のリハビリテーション科

 きのした みさ  
 作業療法士 木下 未紗

当院のリハビリテーション科は、医師1名、理学療法士12名、作業療法士7名、言語聴覚士4名の計24名で構成されています。急性期病院の特性を活かし、発症早期から患者さん一人ひとりに合わせた集中的なリハビリテーションを提供しています。広々としたリハビリテーション室には、機能回復を最大限にサポートするための様々な専門的な道具や最新の器材を完備しており、状態に応じた最適な訓練を実施できる環境で日々患者さんと共に頑張っています。



当院の周辺は、豊かな緑に囲まれ、四季折々の美しい花々が咲き誇る、心安らぐ環境です。院内には、患者さんやご家族の方がリラックスして過ごせる休憩場所を複数設けております。美しい景色を眺めながら、心身ともに安らぎを感じていただけます。各病棟からは、当院の素晴らしい眺望をお楽しみいただけ、夕焼け時にみる景色も素敵なものです。窓の外に広がる緑豊かな景色や、季節ごとに表情を変える花々が、通院される患者さんや入院患者さんの心の癒しとなることを願っております。



病院内には、たくさんの癒スポット休憩場所がありますので、ぜひご利用ください。





## R7年度新採用者・転入者宿泊研修報告

さとう たかみつ  
教育担当看護師長 佐藤 孝光



7月11日(金)～12日(土)の2日間、当院の新採用者と転入者を対象とした宿泊研修を開催しました。本研修は、新しく当院の仲間となった職員の帰属意識を高め、職員間の絆を深めることを目的としています。

昨年続く2回目の開催となる今回は、転入者が加わり、病院幹部や研修スタッフを含め総勢約70名が参加し、活気に満ちた研修となりました。

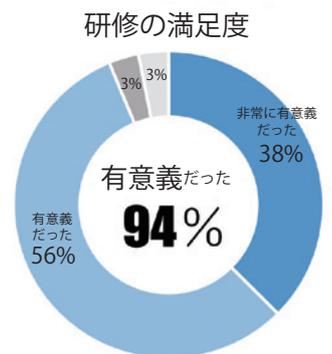
初日の夜はバーベキューで和やかなひとときを過ごしました。参加者はリラックスした表情で語り合い、協力して調理する中で自然と一体感が生まれました。幹部職員や研修スタッフとの交流も深まり、この多職種間の相互理解が日々の業務におけるスムーズな連携を促し、患者さんへのより良い医療・ケアへと繋がるものと考えております。

2日目は、「患者さん、職員、そして病院にとって良い医療とは

何か」をテーマに活発な議論を交わしました。これは、当院が最も大切にしている「患者よし、職員よし、病院よし」という基本理念に基づいています。意見交換を通し、職員一人ひとりがこの理念実現に向けた自身の役割を再確認し、日々の業務への決意を新たにしました。

研修後のアンケートでは、「他職種に声をかけやすくなった」「相談できる人が増えた」といった声が多数寄せられました。参加者の研修満足度も94%と高く、本研修が有意義な時間であったことが示されました。

今回の研修で生まれた絆を力に、地域の皆さんに一層信頼される病院を目指し、スタッフ一同、今後も邁進してまいります。当院の医療・ケアがさらに充実することを期待ください。

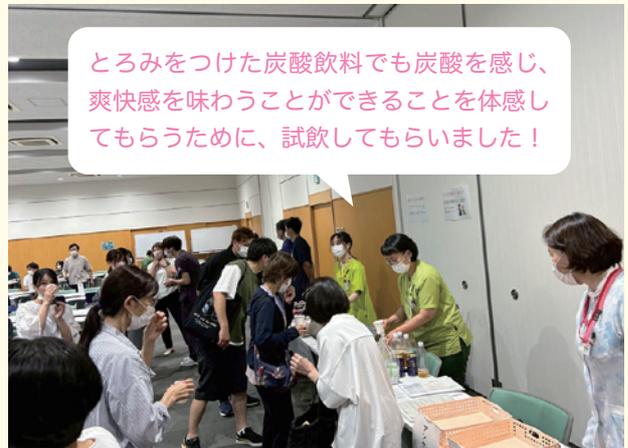


# 脳卒中地域交流学習会を開催しました!

なかたに あやこ  
地域医療連携係長 中谷 綾子

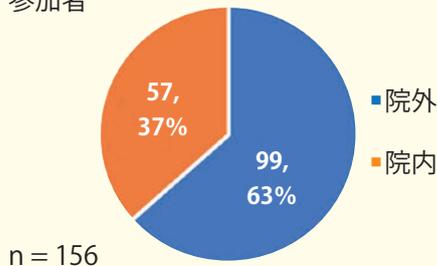
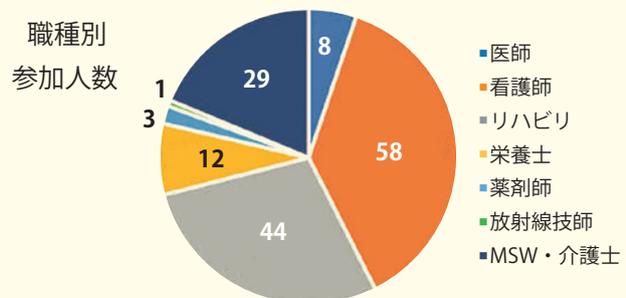
令和7年7月17日(木)18時30分より20時30分まで、当院の研修センターにて脳卒中地域交流学習会を開催しました。地域交流学習会は令和6年から病院と地域との連携を強化し、交流を深めることを目的に開始しました。今回のテーマは「脳卒中患者のリハビリテーション継続のために地域での取り組みを考える」とし、院外から99名の方々にご出席いただき、院内スタッフ57名を含む総勢156名の方々にご参加いただきました。

講演は、当院の佐藤言語聴覚士長より「飲み込みの悪い人を見つけるためのチェックポイント」について、中山栄養管理室長より「飲み込みの状態に合わせた食事の工夫」について、馬場退院調整看護師より「脳卒中患者の入院から転院までの事例紹介」、師井医療ソーシャルワーカーより「脳卒中患者の入院・外来でのリハビリ継続事例」についてでした。摂食嚥下障害を確認するシートの活用や早期発見、自宅のできる食事の工夫などが紹介されました。患者事例では、在宅に戻ってから外来で継続できる摂食嚥下リハビリテーションが少ないことなどを共有しました。グループディスカッションでは、各職種で取り組んでいることや今後の課題について話し合い、病院と地域の相互連携の重要性を感じることができました。



終了後のアンケートでは、「多職種の意見を聞く機会が少なかったので勉強になった」「講演も分かりやすく事例からもイメージができた」「有意義な時間で今後も多職種と話せる機会を作ってほしい」などの意見をいただきました。今後も地域の方々と連携を図り、患者さんや家族が安心して生活できるような取り組みを継続していきたいと思っております。

参加者

職種別  
参加人数

次回は1月開催予定です。多くの方の参加をお待ちしています。



# 消防訓練について

ごとう ひろき  
庶務班長 後藤 大樹

令和7年4月1日より庶務班長として福岡東医療センターに赴任した後藤と申します。よろしくお願いたします。現在の消防法では“病院は年2回以上の消防訓練(消火訓練及び避難訓練)の実施が義務化されており、訓練のうち一回は夜間に実施するようつとめること”とされています。今回の消防訓練は令和7年度の1回目となります。

避難訓練は日中に4階東病棟看護師休憩室から出火した想定で実施しました。庶務班長として私は今回、本部・避難場所を設置し、各職場長から被災状況報告書(第2報)を用いた報告を受け本部と共有する役割を担わせていただきました。

消防署からは想定されたシナリオに沿って各担当者がきちんと役割を果たしているとの講評を受けました。ただし、本当に火事・災害が起こり避難しなければならないとき、訓練通り各人の役割を果たすこと



ができるかは日頃の意識を高く持ち、訓練を重ねる中で経験を積んでいくしかありません。消防法で義務付けられているからと、訓練のための訓練とならないよう、“今、火事や災害が起こったらどうするか”を常に頭に入れておくことの重要性を感じました。

避難訓練の後は模擬消火器を用いた消火訓練を併せて実施しました。火元からの距離感や、どの程度の炎までなら消火器で対応可能かの目安を現役の消防士から助言を受けながら訓練を受けることができました。訓練(練習)でうまく動けなければ本番



でうまく動くことはできません。模擬消火訓練の際は、慣れていない人ほど積極的に実際に消火器を用いた消火訓練に参加していただきますよう、よろしくお願いたします。

## クッキングパパ

# うえやま先生の紹介



「うまいっ!!」評価いただきました!

クッキングパパ作者のうえやま先生が当院宛に色紙を描いてくださいました!

また、クッキングパパで紹介されている「炒り豆腐」と「千草焼き」は当院の食事で提供さ

れています。うえやま先生も楽しみにしてくださっていた福岡東医療センターのレシピを載せていますのでぜひご自宅でも作ってみてください。うえやま先生ありがとうございます!!

## クッキングパパ

紙面上で「うまいっ!!」評価いただいた当院の料理のご紹介



千草焼 1人前 (材料費45円102kcal)

材料 (1人前) 野菜はお好きな量で調整ください

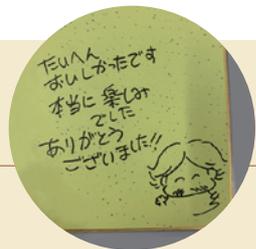
卵 1個・ニンジン 10g・玉ねぎ 20g・ネギ 2g

塩 0.1g・みりん 2g・薄口醤油 2g・サラダ油少々

作り方: ご家庭では角型フライパンを準備してください

- ①野菜をみじん切りにする
- ②たまごをボールに割り入れ調味料を混ぜ合わせる
- ③①みじん切りにした野菜を②卵液に加える。
- ④油を敷いた角型フライパンに流し入れ、アルミホイルで蓋をし弱火から中火で蒸し焼きにする。

※週刊モーニング28号クッキングパパにはもっと詳しい作り方が紹介されています。



## 編集後記

現在、手術室のインフラ整備が着々と進んでいます。手術室は4室から5室へと増室され、急患手術にもより迅速かつ柔軟に対応できる体制が整います。无影灯はハロゲン灯からLEDへと更新され、省エネルギー化を通じて環境負荷の軽減とSDGsへの貢献が期待されます。また、手術映像システムの導入により全ての手術動画が記録・保管され、教育や診療の質向上に活用できるようになります。さらに、麻酔記録システムの導入により、より高い安全性と安心を患者さんに提供できるようになります。これらの整備は2025年10月中旬に完了予定であり、当院の地域医療に大きな前進をもたらすものと考えています。詳細は次号「ちどり」で改めてご紹介いたします。(統括診療部長 内山 秀昭)

外来担当医一覧 令和7年9月1日現在 ※最新の担当医はホームページをご覧ください。https://fukuokae.hosp.go.jp/

受付時間

- 1) 午前8時30分から午前11時00分まで。 ※予約の方は、指定された時間において下さい。
- 2) 土・日・祝祭日・年末年始は休診です。当院は救急告示病院です。救急の方は、診療時間外でも受付いたします。

診療科		月	火	水	木	金	
内科新患(別紙参照)		当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	
脳神経内科 (新患予約制)	新患	田中 恵理	吉川 容司	山中 圭	田中 恵理	黒田 淳哉	
	再来(脳血管内科)	吉川 容司	中根博・山中圭	黒田 淳哉	中村 瑠子	立花 正輝	
	再来(神経内科)	-	田中 恵理	田中 恵理	九大医師	-	
糖尿病	新患	大城 彩香	-	川野 聡子	原田 久嗣	堤 礼子	
	再来	堤礼子・原田久嗣	-	大城彩香・堤礼子	川野 聡子	大城 彩香	
血液内科	新患	-	担当医	担当医	-	担当医	
	再来	亀崎 健次郎	亀崎 健次郎	黒岩 三佳	-	黒岩三佳・坂本佳治	
消化器科 (消化管・肝臓)	肝	高尾 信一郎	多田 靖哉	大宮 絵美里	多田靖哉・高尾信一郎	-	
	膵胆	藤山 隆	大越 恵一郎	松尾 享	松尾 享	大越 恵一郎	
	消化管	藤井 宏行	將口 佳久	武田一泰・小玉将義	田中 宗浩	佛坂 孝太	
腎臓内科	新患	中野 利恵子	黒木 裕介	黒木 裕介	荒瀬 北斗	橋本 諒司	
	再来	黒木 裕介	中野 利恵子	橋本 諒司	黒木 裕介	荒瀬 北斗	
循環器科 (新患予約制)	第一診察室	小池 明広	小池 明広	小池 明広	小池 明広	小池 明広	
	第二診察室	畠山 究	入江 圭	中村 洋文	野崎 俊哉	升井 志保	
呼吸器科	新患	中野 貴子	中富 啓太	高田 昇平	山下 崇史	神宮司祐治郎	
		中富 啓太	高田 昇平	山下 崇史	高田 昇平	山下 崇史	
	再来		神宮司祐治郎	中野 貴子	出雲 正浩	中富 啓太	
			沖崎 恵理	出雲 正浩	神宮司祐治郎	中野 貴子	
	吉田 京子	神宮司祐治郎					
感染症外来		濱武 大輔	肥山 和俊			肥山 和俊	
呼吸器外科		緑川 健介	(手術日)	(濱武大輔)	(手術日)	(手術日)	
外科 (新患予約制)	消化器	内山 秀昭	休診(急患対応可)	井口 友宏	休診(急患対応可)	内山 秀昭	
		由茅 隆文				長尾 吉泰	
	馬場 崇平						
乳腺	内山 秀昭	休診(急患対応可)	石田 真弓	石田 真弓	休診(急患対応可)	休診(急患対応可)	
血管	休診(急患対応可)	松本 拓也	松本 拓也	休診(急患対応可)	休診(急患対応可)	休診(急患対応可)	
整形外科 (新患予約制)	新患	松下 昌史	安達 淳貴	(手術日) 外来休診	松下 昌史	(手術日) 外来休診	
		岡本 重敏	光吉 良輔		清水 大樹		
		上妻 隆太郎			上妻 隆太郎		
		釘本 裕三					
野口 真妃							
再来		清水 大樹		岡本 重敏			
		野口 真妃		安達 淳貴			
脳神経外科	新患	福本博順・宮川健	福本 博順	担当医	福本 博順	福本博順・宮川健	
	再来	宮川 健	福本 博順	-	福本 博順	宮川 健	
皮膚科 (新患予約制)	新患	中村 美沙	中村 美沙	中村 美沙	中村 美沙	中村 美沙	
	再来	成富 真由香	成富 真由香	成富 真由香	成富 真由香	成富 真由香	
小児科	午前	一般	松尾 光通	岩屋 友香	西村 真直	泊 由里子	村田 憲治
		専門(予約)	増本夏子・中原和恵	松尾光通・川上沙織	李守永・中原和恵・松尾光通	李守永・西村真直	李・中・詠(第1・3・5) 記井(第2・4)
	午後	一般	李 守永	水野勇司・松尾光通	李守永・中原和恵	増本 夏子	李守永・中原和恵
		専門(予約)	中原 和恵	血液(江口克秀)	循環器(寺師英子)	李 守永	川上 沙織
	春日井悠(第1・3・5)	アレルギー(第2・4)	岩屋 友香	村田 憲治	村田 憲治	アレルギー新患 (喘息検査)	
	吉元陽祐(第2・4)	吉元(第1・5) 春日井(第3)					
放射線科	新患	月～金 渡辺 哲雄(※事前に必ず電話予約が必要です)					
	再来	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	
歯科口腔外科	新患	吉田 将律	吉田 将律	吉田 将律	吉田 将律	(再来のみ)	
	再来	田尻 祐大	田尻 祐大	田尻 祐大	田尻 祐大		
婦人科	新患	内田 聡子	内田 聡子	内田 聡子	(手術日)	内田 聡子	
	再来	田中章子・村田結美子	田中章子・村田結美子	田中章子・村田結美子		田中章子・村田結美子	

- 物忘れ外来 完全予約制(内科外来内247)【担当医 田中恵】  
『金曜日9:00～10:00』  
※予約受付は平日月～金13時～16時にTEL予約
- 痙攣外来 完全予約制 『火曜日・木曜日 午後』
- 嚥下外来 完全予約制 『月曜日』
- 緩和ケア外来 完全予約制(担当看護師内8184)  
『火曜日・木曜日 午前』

独立行政法人国立病院機構  
福岡東医療センター

〒811-3195 福岡県古賀市千鳥1丁目1-1  
HP <https://fukuokae.hosp.go.jp/>  
TEL 092-943-2331 フリーダイヤル0120-212-454(地域医療連携室)  
FAX 0120-087-437